

しんの心 「進」「伸」「深」を大切に

笠松小学校 第4学年
学年通信 第2号
令和3年4月27日(水)



懇談会資料

○子どもの様子について

4年生がスタートして、3週間になろうとしています。自分たちで頑張らなきゃ、協力し合って仲よくしなきゃという思いがあるようです。係の子を中心に仲良く学級遊びをしたり、「静かにするよ!」と呼びかける声、そしてその声に応えようとする姿があったり、集中する時にはさっと集中できる姿があったりと、とても良いスタートが切れています。「しんの心」にある「進」の心が早くも花を咲かせそうです。

また、どちらのクラスも学級目標が決まりました。1組は『元気に、仲良く、あきらめない』、2組は『思いやり・協力・笑顔』です。クラス全員で長い時間をかけ、この1年間の指標となる学級目標を決めたので、日々大切にしながら過ごしていきたいと思えます。

それぞれの学級通信で、毎週の週予定と共に学級の様子をお伝えしております。ぜひご一読いただけると幸いです。

○4年生の学習の見通し

【国語】

相手に分かりやすく筋道を立てて話すこと、事実と感想・意見を区別して簡潔に書くことを重視します。また、著者の主張をつかむ力に加え、その主張に対する自分の考えをもつことも大切になります。また、言葉や熟語、漢字など言葉の学習の範囲も広がります。朝活動の時間で行うドリルタイムも活用しながら、習熟を図っていきます。

【算数】

小数の計算や分数、角度や面積、グラフや立方体などを学習します。内容は容易ではなく、根本的な理解を必要とします。ここで学ぶことは5年生の応用へとつながります。単に公式に当てはめるのではなく、「なぜそうなるのか?」と説明する力や公式を導き出せるような学習をします。

【理科】

電気や天体、もののかさや体の仕組みなど。自分の予想→結果→考察の流れに沿って意見・感想・疑問などをもって取り組むことが大切になります。安全に正しい実験方法を学びます。

【社会】

主に岐阜県内のことを学習します。最初は暮らしを守る様々な仕事について学習し、その後、羽島

の地域学習や、岐阜県の伝統工芸なども学習します。校外学習では、10月頃に美濃市にある「美濃和紙の里会館」に行き、伝統的な紙すき体験を行います。都道府県名を漢字で確実に覚えるのも4年生です。

【音楽】

合奏を仲間と一緒に作り上げたり、自分の表現を工夫したりします。いろいろな楽器に挑戦する機会もあります。今年度も昨年度と同様に、現時点では、コロナ対策として合唱を行うことはできていません。社会の状況に合わせて、学習を行っていきます。

【図画工作】

色や形、材料などを工夫した造形的な表現に興味や関心を深めたり、構想を働かせ、動きのある絵を描いたりして総合的な技能を鍛えます。

【体育】

スポーツテストから始まり陸上運動、ポートボールや器械運動を行い、体の軟らかさや力強い動き、体力を持続する能力を高めていきます。見方・考え方を働かせながら、仲間同士でアドバイスをし合い、どの子どもが楽しめる体育を目指していきます。

【総合的な学習の時間】

「いのち」をテーマに学習を進めます。年間を通して、飼育・栽培活動を総合的な学習に位置付けています。そのため、世話だけでなく、生き物について調べたり、住みよい環境を作ったりといった活動も取り入れていきます。また、1/2成人式で、自分の成長を振り返る活動も行います。

〇お願い

◆飼育・栽培について

飼育当番を行っています。高学年の仲間入りとして、また、来年度への委員会活動に向けて、4年生は全員が「飼育委員」として活動を行います。例年、平日の飼育活動だけでなく、長期休業中にも当番を組んでいました。しかし、コロナ禍の状況であることも踏まえ、改めて学年通信を通してお伝えしたいと考えています。活動を進めるにあたり、保護者の皆様には、ご協力をお願いすることが多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。

◆授業に関わって

4年生の図画工作の学習では、材料や道具などを工夫し、家から持ってきてもらうこともあります。その他の教科でも学年通信やお子様を通じてお知らせしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆漢字辞典について

国語で「漢字辞典の使い方」の学習をします。学校にある漢字辞典を使用します。

◆家庭学習について

学習の内容が多い学年です。保護者の皆さまの励ましをいただきながら、「自ら学ぶ」意識を高め、力を付けていきたいと思っています。

□毎日 ○音読 ○漢字ドリル or 計算ドリル 1つ を基本として出します。

(学習内容によって、変更することもあります)

□主に週末 かチャ勉や日記 (プリント形式で出します)

・かチャ勉は、いつでも進んで取り組んでよいです。4年生で取り組む例が書かれたプリントを配付しましたので、学習の参考にしてください。自分が苦手だと思うことや、得意なことを更に伸ばすために取り組むことができるとよいです。自分のために、自分で考えて学習する意欲を身に付けさせたいと考えています。始める前にはめあて、取り組んだ後には振り返りを必ず書きます。

※かチャ勉で練習問題 (自分で作った問題も) を行う時は、必ず答え合わせをして提出します。(丸付けは、本人が行っても構いません。)

□漢字ドリル・計算ドリルの進め方

繰り返しの練習で定着を図りたいと考えますので、最低2回は練習します。進んで3回目に、取り組む場合は、2回目と日にちをあけて取り組むと、より効果的です。

漢字ドリル・計算ドリルを終えたら、必ず答え合わせをするようにします。間違えたまま覚えてしまうことのないようにするためです。問題形式の時には、全問を解いた後に答え合わせをし、正しい漢字を下に練習できるとよいです。計算ドリルもまちがいがあった場合には、最後にもう一度直すように指導しています。確実に力を付けたいと思いますので、ご家庭でも声かけをしていただけるとありがたいです。また、4年生では、自分で間違いに気づき、直す力を身に付けたいと思います。ときどき、自分で答え合わせをさせた後に、確認をしていただくと上手に確かめができるようになります。

□音読

「継続は力なり」です。長い物語などは、学習している場面だけでもよいので、毎日続けると力が付きます。土日も1か月間休まず取り組めた子には、ご褒美シールを貼ります。